

第1号議案 令和6年度事業報告について

令和6年度は、オーケストラアンサンブル金沢による定期公演や学校公演に取り組んだほか、定期会員拡大に向け、新たに安価なビスタ席（旧B席）を追加するなど、シリーズ・セレクト定期会員制度の充実にも取り組んだ。

自主事業においては、初めて海外の団体と連携し香港との共同制作事業を実施して国際交流を推進したほか、アーティスティック・クリエイティブ・ディレクターの野村萬斎氏の公演を初めて県外の会場でも上演するなど、当館内にとどまらない事業の拡充に努めた。

また、能登半島地震復興応援コンサートを県内外22か所において実施したほか、能登半島地震や奥能登豪雨の被災地への慰問公演など、音楽による被災地支援にも引き続き取り組んだ。

1 オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1） () = 県外公演数（内数）

区 分		6年度実績	摘 要
1 オーケストラ運営事業			
自主公演	定期公演	21 (3) 公演	県内、東京、大阪、名古屋
	特別公演	38 (22) 公演	県内、富山、福井、新潟
	音楽堂特別公演	4 (1) 公演	県内、氷見
	ファミリー公演・入門コンサート	1 (0) 公演	
	新人登竜門コンサート	1 (0) 公演	
	CD等録音・収録	1 (0) 公演	
	小 計	66 (26) 公演	
依頼公演	小・中学校公演	12 (2) 公演	県内、高岡
	市町・企業等依頼公演	22 (6) 公演	県内、長野、富山、京都等
	CD等録音・収録依頼	0 (0) 公演	
	小 計	34 (8) 公演	
海 外 公 演		0 (0) 公演	
		合 計	100 (34) 公演
小編成による室内楽公演		163 (21) 公演	
2	ジュニア・アマチュアオーケストラの育成振興事業	○ジュニア・オーケストラの技術指導等振興事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 5月5日（日・祝）ガルガンチュア音楽祭 ・ 3月16日（日）定期演奏会 ・ 3月30日（日）オーケストラの日 	
3	その他、音楽文化を通じて地域振興に寄与する事業	○楽器技術講習会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月21日（土）県立音楽堂 ※能登地区の講習会は地震の影響により中止 ○オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 10月26日（土）オペラ「ラ・ボエーム」に出演 ・ 2月22日（土）萬斎のおもちゃ箱に出演 ○能登半島地震被災地への慰問公演の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 珠洲市(6月)、内灘町(7月)、輪島市(8月)、穴水町(9月)、志賀町(9月)、能登町(10月)、七尾市(11月)ほか 	
	・ 楽器技術講習会		
	・ 合唱団の育成		
	・ ボランティア公演実施		

令和6年度 オーケストラ・アンサンブル金沢の特徴的な事業

- (1) 北陸新人登竜門コンサート ピアノ部門
5月19日(日) 石川県立音楽堂コンサートホール
- (2) ガルガンチュア音楽祭2024への出演
4月29日(月・祝)～5月5日(日・祝)開催 石川県立音楽堂コンサートホール他
オーケストラ公演：7公演(オープニングコンサート1公演を含む。)
- (3) 能登半島地震復興応援コンサート
各地アーティストとの共演を含む、県内外22公演を実施
- (4) 世界的アーティストとOEKとの共演
6月20日(木) 指揮：マキシム・パスカル(フランス)
9月17日(火) ピアノ：ファジル・サイ(トルコ)
9月22日(日) トランペット：セルゲイ・ナカリャコフ(ロシア)
1月26日(日) 指揮：アントニオ・メンデス(スペイン)
- (5) 世界で活躍する日本の若手アーティストとの共演
10月17日(木) ヴァイオリン：佐藤俊介
3月8日(土) 指揮：沖澤のどか

2 音楽堂自主事業会計(公益目的事業会計2)

石川県立音楽堂自主事業を3ホール合わせて20事業を実施

洋楽の部	邦楽の部	交流ホールの部
音楽堂リサイタルシリーズ (年間2回) ランチタイムコンサート (年間6回) 小中学生のためのコンサート (8月、12月) ステージアートの世界(8月、12月) 和洋の響(2月) 他5事業実施	萬斎からのメッセージ「山月記・名人伝」高校生鑑賞教室(7月) 新春芸能玉手箱(1月) MANSAI CREATION BOX ～萬斎のおもちや箱～(2月) 子ども邦楽アンサンブル 他2事業実施	音楽堂フェスタ 〔親子で楽しめる伝統芸能等の体験イベント(8月)〕 カルチャーナビ 〔クラシック音楽講座や芸能講座 年間4回〕 障がい者支援ワークショップ&コンサート 〔障害のある児童生徒を対象とした参加型イベント〕 他1事業実施
計10事業	計6事業	計4事業

3 音楽堂管理会計(公益目的事業会計3 及び 収益事業会計)

石川県立音楽堂の管理運営(県から指定管理者に指定：令和5年4月1日～令和10年3月31日)

年間ホール利用	コンサートホール	263日	
(本番・練習)	邦楽ホール	213日	総入場者数286,727人
	交流ホール	244日	

4 当期収支について

【オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1＋法人会計）】

収入面において文化庁の新型コロナウイルス感染症に関連する臨時的な補助金（▲122 百万円）が昨年度で終了したことに伴う補助金の減少により、当期収支は赤字決算となった。

当期一般正味財産増減額：△49,482,070円

なお、オーケストラ運営事業準備資金の取崩額72,718,000円を加えた場合の当期一般正味財産増減額は23,235,930円の黒字決算となる。

【自主事業会計（公益目的事業会計2）】

香港との共同制作公演等の舞台費が想定より大きくなったことにより、当期収支は赤字決算となった。

当期一般正味財産増減額：△4,160,543円

【管理会計（公益目的事業会計3＋収益事業等会計）】

貸館利用の回復にともないホールの使用料収入や駐車場収入が増加したことにより、当期収支は黒字決算となった。

当期一般正味財産増減額：19,284,059円

【全体の収支】

公3会計が黒字決算となったが、2会計の赤字額が大きいため、事業団全体の当期収支は赤字決算となった。

当期一般正味財産増減額：△34,358,554円（詳細は次頁以降参照）

なお、オーケストラ運営事業準備資金の取崩額72,718,000円を加えた場合の当期一般正味財産増減額は38,359,446円の黒字決算となる。

5 収支相償について

新型コロナウイルスに関する補助金等の収入増加により、令和元年度から令和3年度にかけて、公益目的事業会計において黒字額が発生し、公益認定基準のひとつである「収支相償」を満たしていない状況となったことから、令和6年3月の理事会において27,900万円を特定費用準備資金に計上し、計画的に執行することとした。

この積立額については、令和6年度に専門人材の確保・育成に1,694万円、OEKのPR強化に378万円、震災復興支援に5,200万円、合計7,272万円を取り崩して執行した。

また、令和7年3月の理事会において、令和4年度分の黒字額の一部である7,300万円についても同様に特定費用準備資金に計上し、計画的に執行することとしたところである。